

ECLIPSE

工事説明書

basic series oven series

エクリップス ベーシックシリーズ／オープンシリーズ

ECLIPSE soapstone #7308

ECLIPSE #7300

ECLIPSE soapstone+oven #7318

ECLIPSE oven #7310

工事される方へのお願い

- 工事の前に、この「工事説明書」をよくお読みのうえ正しく工事を行ってください。この「工事説明書」は、工事終了後に必ずお客様へお渡しください。
- 工事説明書に記載された方法以外の工事・分解等を行われた場合に伴う、ストーブおよび建築の不具合・破損については保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理いただくようお願いいたします。
- 建築物への開口作業や支持金具を固定する下地等に関しては建築業者とよくお打合せの上、行ってください。
- 工事に従事する方は、労働安全衛生規則にしたがってください。設置場所の状況や機器（重さや形状）、煙突設置の高所作業時等で、けがをされないように十分注意してください。
- 据え付け完了後、P25 チェックリストに基づいて再確認を行ってください。
- 後の保守点検に必要な情報として設置図面や使用した部材の情報は設置記録として保管してください。

目次

1. 安全のために必ずお守りください	2
2. 開梱	
開梱の際の注意	8
付属品の確認	8
パレットの外し方	8
3. ストーブの搬入移動と据え付け	
搬入移動の事前準備	9
搬入移動と据え付け	10
4. 本体の設置	14
5. 給気用ダクトの取付け方法	16
6. 燃焼室のパネル、付属品の取付け	18
7. 煙突の設置	21
8. 排気経路の改善	24
9. ドアハンドルの取付け方法	25
10. チェックリスト	25
11. 本体寸法図	26



1 安全のために必ずお守りください ⚙️

表示について

 危険	作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって使用者が、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 一般的な禁止	この表示は、「禁止」されている内容です。
 一般的な指示	この表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

危険



禁止

お客様による据え付け移設工事の厳禁

据え付けや移設工事は販売店、または専門業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。
設置については本書の内容の他、火災予防条例、建築基準法などの法令の基準があります。
これらに従わない場合、火災など、危険な状況を引き起こす場合があります。



禁止

屋内排気禁止

屋内に排気すると煙が屋内に充満して危険です。必ず屋外に排気してください。

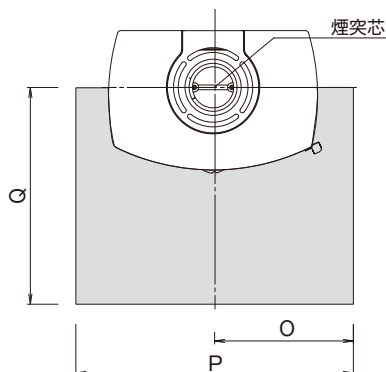


指示

設置の床を必ず保護する（炉台）

ストーブを設置する床は、ストーブの重量に長期間耐えられる水平かつ、安定している場所を選択した上で、
図1の範囲を不燃材料で有効に保護してください。
床の保護には不燃材料（金属を含む）で施工してください。
レンガやタイルを用いる場合は隙間が生じないように目地をモルタルでつめてください。
床の保護を怠ると、燃えた灰の落下や輻射熱で火災の原因になります。

図1 床の保護範囲



■床の保護（炉台の寸法） 全モデル共通 (単位:mm)

側面O	幅P	奥行きQ
533以上	1066以上	715以上



禁止

次の場所には据え付けない

※火災や予想しない事故の原因になります。

- ・ 水平でない場所、不安定な場所
- ・ ストープの上に物が落下する場所
- ・ 可燃性ガスや液体を保管、または溜まる場所
- ・ 乾燥室、温室、飼育室など、人がいない場所
- ・ 避難口など、避難の支障となる場所
- ・ 付近に燃えやすい物がある場所
- ・ ほこりや湿気の多い場所
- ・ 化学薬品を使用する場所
- ・ 燃焼に必要な空気を取り入れる空気取入れ口のない場所。または換気の行えない場所



指示

ストーブの燃焼に必要な空気量を確保する

- ・ ストープを設置する部屋の壁等、ストーブの燃焼に必要な空気量を不自由なく取込めるように屋外へ直接通じる給気口を設けてください。
- ・ 屋外側の給気口の端部はゴミや雪などでストーブの燃焼が妨げられない場所に設けてください。
- ・ ストープを据え付ける部屋の気密が高い場合で、部屋の換気設備やストーブの他に空気が必要とする機器により、ストーブが燃焼に必要な空気量を十分に取込めないと、不完全燃焼がおこる他、一酸化炭素を含んだ煙が部屋に漏れて、生命に危険をおよぼすおそれがあります。



禁止

換気を行えない場所には設置しない

換気を行えない場所に設置するのはおやめください。屋内に煙が溜まり危険です。



禁止

家具、カーテン、寝具、薪など可燃物近接禁止

家具、カーテン、寝具、薪など、燃えやすいものをストーブや煙突に近づけないでください(本製品のログスタア内の薪は除く)。ストーブの熱気で発火して火災の原因になります。

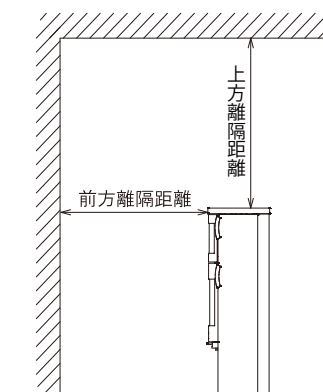


指示

可燃物との距離を離す

ストーブ、および煙突から周囲の壁・天井・柱などの可燃物までは、火災予防上の安全な離隔距離を設けてください。火災の原因になります。

図2 ストープ前方・上方から可燃物までの離隔距離



前方離隔距離

(単位:mm)

モデル名	メーカー指示	告示第225号
エクリプス ソープストーン	1200	1957
エクリプス	1200	1957
エクリプス ソープストーン +オープン	1200	2274
エクリプスオープン	1200	2274

上方離隔距離 (全モデル共通)

メーカー指示	告示第225号
500	1150

(単位:mm)



警告



指示

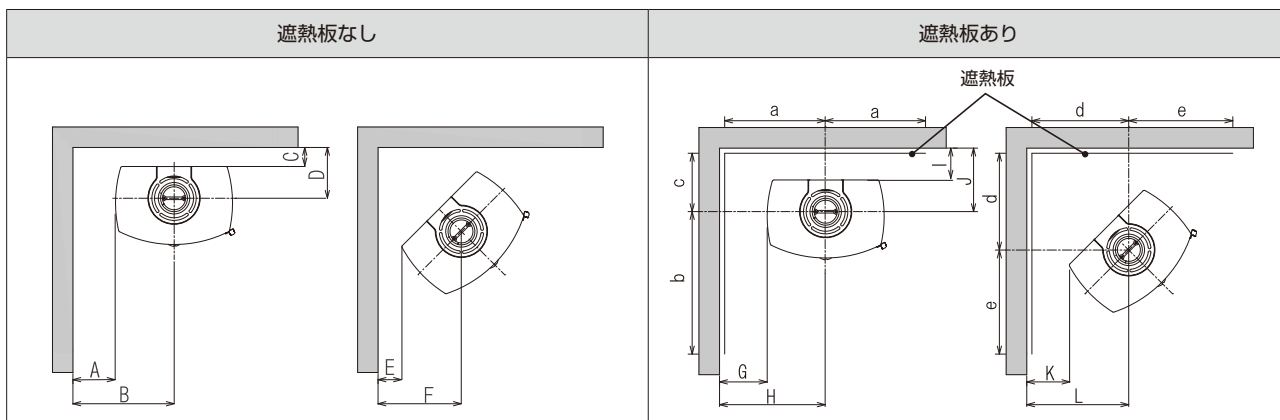
ストーブから周囲の可燃物まで安全な距離を離す

ストーブから周囲の壁、天井、柱など可燃物までは、ストーブを設置する部屋などの仕上げと遮熱板による可燃物の保護に応じて、安全な離隔距離を確保してください。火災の原因になります。

内装制限の技術的基準に従う場合

ストーブを設置する火気使用室の仕上げは建築基準法に定められた内装制限の技術的基準に従い、壁、および天井(天井のない場合においては屋根)の室内に面する部分を、準不燃材料で仕上げてください。その上で、25mmのスペースによる空気の対流層がある不燃材料で作られた遮熱板の有無により、それぞれの離隔距離を確保してください。

ストーブ側面・背面から可燃物までの離隔距離



※遮熱板とは25mm以上の空気層のある不燃材壁。

■全モデル共通（遮熱板の高さのぞく）

(単位:mm)

遮熱板なし						遮熱板あり					
離隔距離						離隔距離					
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
400	733	125	307	50※	390	150	483	125	307	50※	390
						遮熱板の幅					
						a	b	c	d	e	
						458	690	282	365	471	
						遮熱板あり					
						遮熱板の高さ(下部空気層25mm含む)					
モデル名											
エクリプス ソープストーン						1100					
エクリプス						1100					
エクリプス ソープストーン+オープン						1450					
エクリプス オープン						1450					

警告



ストーブから周囲の可燃物まで安全な距離を離す

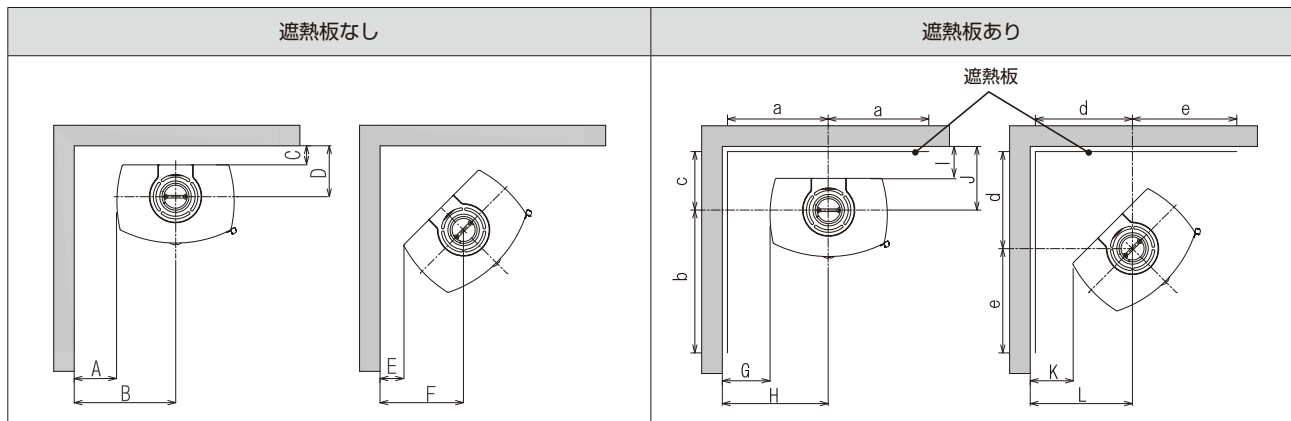
指示

ストーブから周囲の壁、天井、柱など可燃物までは、ストーブを設置する部屋などの仕上げと遮熱板による可燃物の保護に応じて、安全な離隔距離を確保してください。火災の原因になります。

国土交通省告示第225号に従う場合(内装制限の緩和措置)

内装制限の準不燃材料による仕上げに準ずる仕上げとして、ストーブによる熱の影響範囲(可燃物燃焼部分)に内装の仕上げ、および下地がかからないように離隔距離を確保してください。もしくはかかる範囲の内装仕上げ、および下地を、25mmのスペースによる空気の対流層がある、特定不燃材料で作られた遮熱板で保護し、必要な離隔距離を確保してください。告示第225号に従えば、熱の影響範囲にかからない部分の内装仕上げに木材を使うことができます。

ストーブ側面・背面から可燃物までの離隔距離



※遮熱板とは25mm以上の空気層のある不燃材壁。

(単位:mm)

遮熱板なし 離隔距離						モデル名	遮熱板あり 離隔距離					
A	B	C	D	E	F		G	H	I	J	K	L
1063	1396	1297	1479	1063	1403	エクリプス ソープストーン	354	687	432	614	354	694
1063	1396	1297	1479	1063	1403	エクリプス	354	687	432	614	354	694
1235	1568	1507	1689	1235	1575	エクリプス ソープストーン+オープン	412	745	502	684	412	752
1235	1568	1507	1689	1235	1575	エクリプス オープン	412	745	502	684	412	752
遮熱板の幅							a	b	c	d	e	
エクリプス ソープストーン							1334	2054	589	668	1247	
エクリプス							1334	2054	589	668	1247	
エクリプス ソープストーン+オープン							1506	2366	659	726	1428	
エクリプス オープン							1506	2366	659	726	1428	
遮熱板の高さ(下部空気層 25mm含む)												
エクリプス ソープストーン							1748					
エクリプス							1748					
エクリプス ソープストーン+オープン							2099					
エクリプス オープン							2099					

※ a は側方に遮熱壁がある場合には H-25mm

安全のために

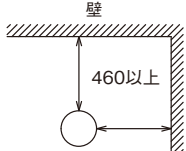
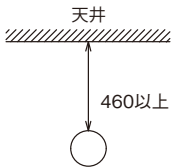
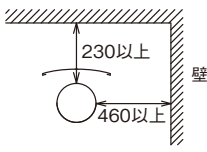
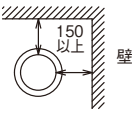
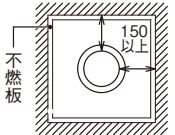
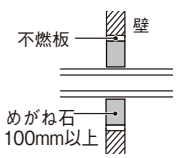
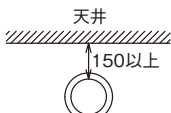
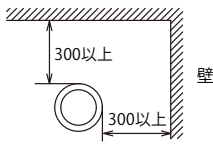
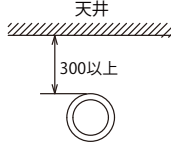
！ 煙突から周囲の可燃物まで安全な距離を離す

指示

煙突から可燃物の間は図3に定められた火災予防上安全な離隔距離を設けてください。
特に貫通部は建築基準法に規定されていますので、図4 貫通部の詳細図のように囲い枠を設け、
枠内は金属以外の不燃材料で防火上有効な処理をしてください。
離隔距離が不足すると火災の原因になります。

図3 煙突から可燃物までの離隔距離

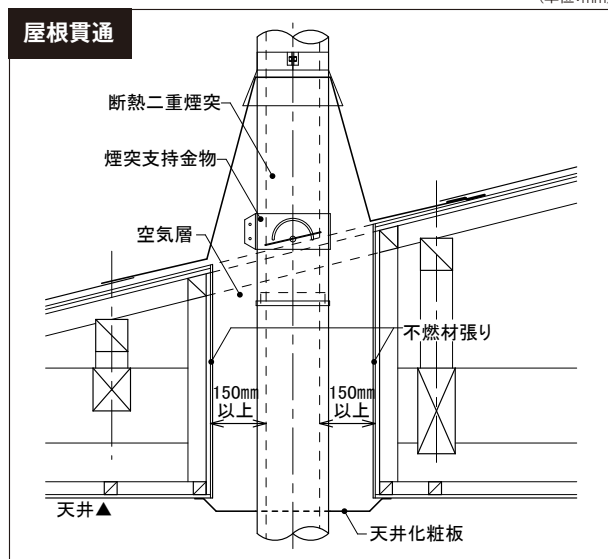
(単位:mm)

	開放空間	小屋裏・天井裏・床裏などの貫通	壁を貫通	天井
シングル煙突	 ※壁に25mmの空気層を設けた遮熱板を使用した場合、230mmまで離隔距離を削減することができます。	 使用禁止	 使用禁止	
煙突ヒートシールド + シングル煙突		 使用禁止	 使用禁止	 使用禁止
断熱二重煙突				
断熱二重煙突 (自在管)		 使用禁止	 使用禁止	

※ シングル煙突にはスターターも含まれます。
※ 貫通部は断熱二重煙突を使用してください。

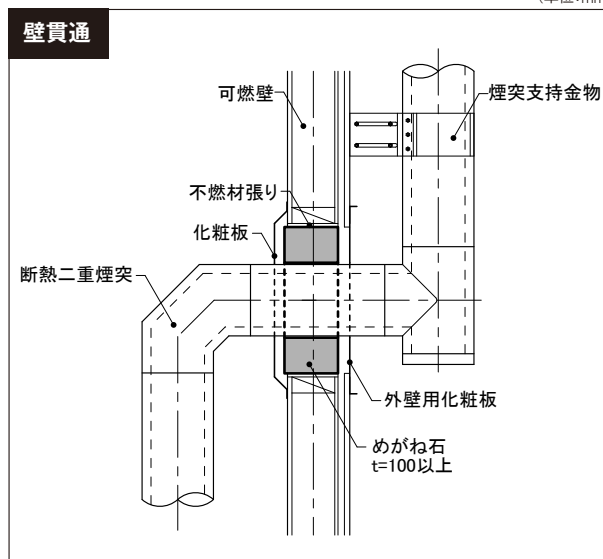
図4 煙突貫通部詳細図

(単位:mm)



※ 煙突が小屋裏、天井裏、および床裏などを貫通する部分は、断熱二重煙突より150mm以上離隔を設け、防火上有効に被覆を行った囲い枠内を貫通させてください。

(単位:mm)



※ 煙突が可燃性の壁などを貫通する部分は必ずめがね石を使用し、めがね石の中に煙突の接続部を設置しないようにしてください。



屋根から煙突の高さを設ける

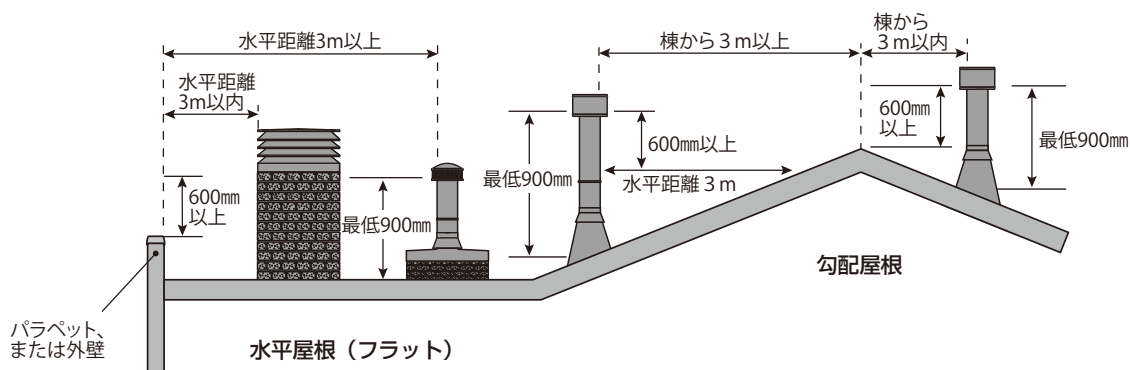
指示

煙突頂部の推奨

風向と屋根の形状から発生する風圧帯により、煙突頂部から逆流をおよぼす影響の防止策、また煙突火災時の燃焼防止として、弊社では米国防火協会（NFPA211）の基準を推奨します。

煙突頂部の推奨距離

煙突の高さは、屋根面から立ち上がる長さを90cm以上とし、その先端からの水平距離3m以内に建築物や障害物がある場合は、その建築物や障害物から60cm以上高くしてください。



建築基準法

- ・ 煙突の屋根上突出部は、屋根面からの垂直距離を60cm以上とすること。
- ・ 煙突の高さは、その先端からの水平距離1m以内に建築物がある場合で、その建築物に軒がある場合においては、その建築物の軒から60cm以上高くすること。



煙突を確実に接続

指示

煙突は容易に外れないよう強固に接続し、かつ排気漏れがないよう接続してください。

煙が屋内に漏れると健康に害をおよぼす他、火災の原因になります。

2 開梱

開梱の際の注意

お使いになる前に、製品の輸送中に生じたネジのゆるみや、外れなどがないかを調べてください。
梱包材は取除いた後、適切に処分してください。

付属品の確認

付属品の内容を確認し、取付け方法に従い確実に取付けてください。

お願い 付属品に不備がありましたら、お手数ですが弊社までご連絡ください。

本体付属品

名称	数量
工事説明書(本書)	1
取扱説明書	1
保証書	1
お引渡し時確認書	1
薪ストーブを安全にご使用いただくために	1
あんしん点検のご案内、兼 所有者登録ハガキ	1
個人情報保護シール	1
パーツリスト	1
グローブ(片手)	1
ホールプラグ(ボトムの穴をふさぐ場合に使用)	4
ドアハンドルセット basic シリーズ	1
oven シリーズ	2
T20トルクス L型レンチ	1
T10トルクス L型レンチ(ovenシリーズのみ)	1
M6T型レンチ(ovenシリーズのみ)	1
着火剤	1
オープン温度計(ovenシリーズのみ)	1
オープングリル(ovenシリーズのみ)	1

備品一覧

名称	数量
スターター	1
スターター用 フランジボルト	2
レッグレベラー	4
ファイバーロープ 53cm(口元用)	1
地震対策用固定穴位置テンプレート	1

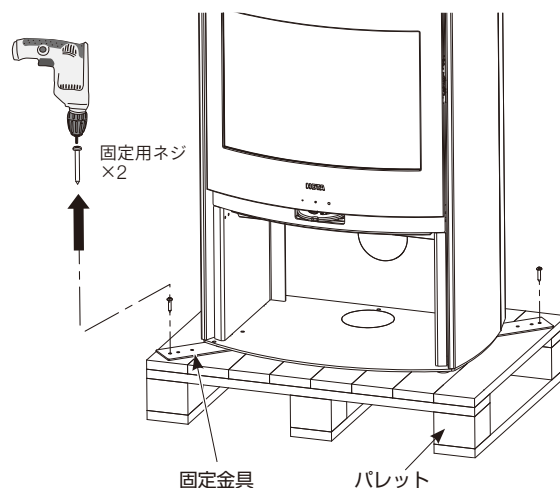
オプション

名称	品番
フロアプロテクター(エキリプス用)	40309
給気用ダクト(ステンレス管仕様・直筒)	18619
給気用ダクト(ステンレス管仕様90°R曲) (ノルン、ログ用)	18375
ベーキングトレイ(エキリプス用)	50305
オープングリル(エキリプス用) 1枚は付属	00500325

※フロアプロテクターのヘアラインは特注品。

パレットの外し方

搬送時、パレットに固定していたネジ(2箇所)を外します。
外したネジ、および固定金具は不要となりますので、適切に
処分してください。



3 ストープの搬入移動と据え付け

搬入移動の事前準備

梱包を解いたストーブを搬入移動する際は、破損のしやすい燃焼室内の各パネルや、外れて落下のおそれのあるストーブトップ、および重量のある各ストーンを取外してください。

作業するにあたり

- 作業は必ず2人以上で行ってください。
- 作業時はすべり止めの付いた手袋を着用してください。
- 毛布などの緩衝材を適宜設置して作業してください。

1

燃焼室内のバッフルパネルなどの各パネルを取外す

● パネルの取外し方法

別紙『取扱説明書』P39「●パネルの分解・組立て手順」に従い、ストーブ本体より取外し作業を行ってください。

注意 パネルはパーミキュライト製で破損しやすいため、取外しは丁寧に行ってください。

2

オープン内からオープングリル、グリルレールを外す ※オープンモデルのみ

別紙『取扱説明書』P27、「オープン、オープングリル、オープントレイのお手入れ」を参照し、取外し作業を行ってください。

搬入移動と据え付け

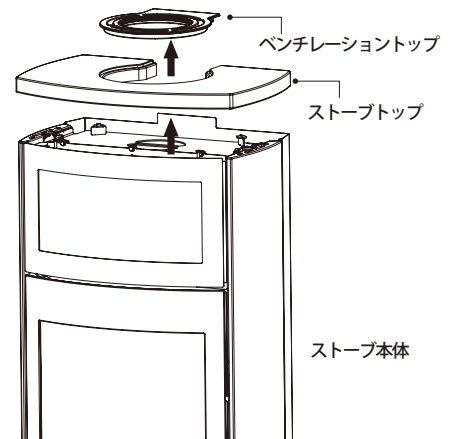
1

ストーブトップ、ベンチレーショントップを取外す

注意 落下による破損を防止するため、ストーブの搬入・移動時は、本体から必ずストーブトップ、およびベンチレーショントップを取外してください。

はじめにベンチレーショントップをストーブの背面から手を掛けて垂直に持ち上げてストーブトップから取外してください。

次にストーブトップを垂直に持ち上げてストーブ本体より取外してください。取外したストーブトップ、およびベンチレーショントップは破損防止のため、毛布などの緩衝材の上に置いて養生してください。



図はエクリプス soapstone + oven [品番:7318] を示します。
エクリプス全機種共通で同様の作業を行ってください。

2

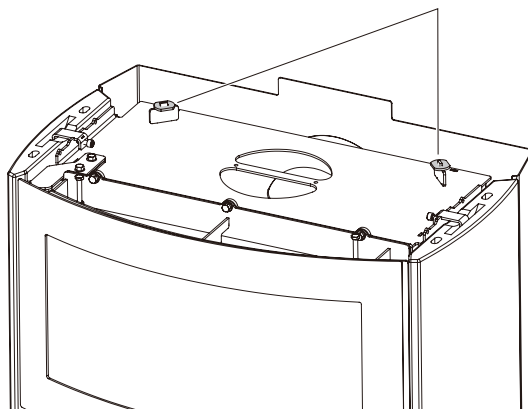
ストーブトップの受け座金物を取外す

図の位置に示す、ストーブトップの受け座金物 2 個を取外します。

注意 取外した受け座金物は紛失しないよう保管してください。

 ストーブトップ受け座金物 × 2 個

ストーブトップ受け座金具



- ストーン仕様は P11 へ
- スチール仕様は P12 へ

ストーン仕様の場合

ストーン仕様は以下の作業を行ってください。

対象モデル

- ・エクリプス soapstone [品番:7308]
- ・エクリプス soapstone + oven [品番:7318]

3

ストーンブラケットを取外す

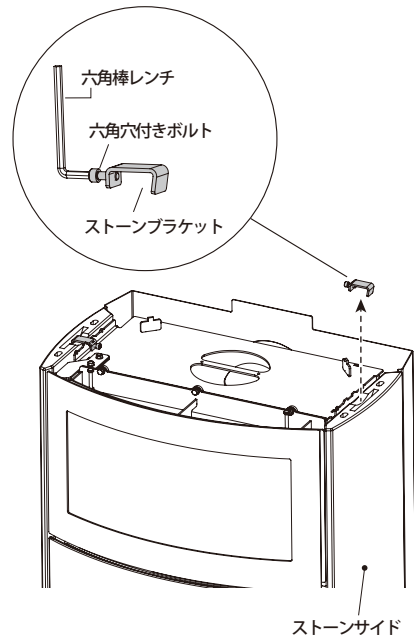
図で示す、六角穴付きボルトを緩めてストーンブラケットを取外してください(2箇所)。

注意 ストーンブラケットを外す際、ストーンサイドが倒れないよう支えながら作業を行ってください。

必要工具

5mm六角棒レンチ

図はエクリプス soapstone + oven [品番:7318]を示します。

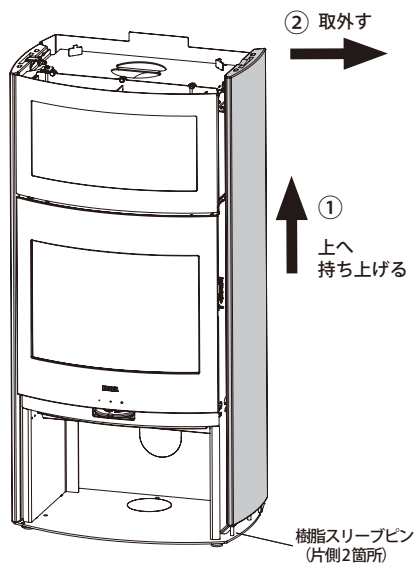


4

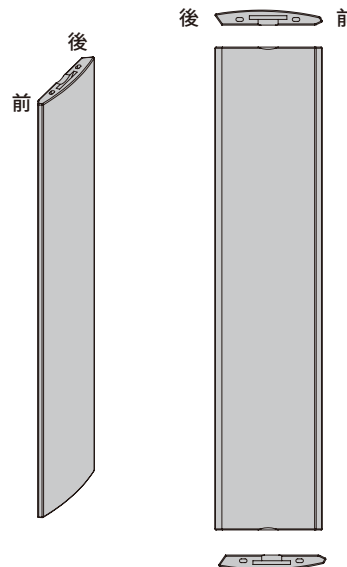
ストーンサイドを取外す

下図のようにストーンサイドの上部を上側に持ち上げて取外してください。

注意 ストーンサイドを持ち上げずに取外すと、樹脂付きスリーブピンが破損する原因となります。



ストーンサイドの形状



ストーンサイドは左右共通(前後の違いはあり)。天地逆でも使用できます。

ストーブの搬入移動と据え付け

5

反対側も 3 ~ 4 と同じ手順でストーンサイドを取外す

●P13 8 へ続く

スチール仕様の場合

スチール仕様は以下の作業を行ってください。

対象モデル

- ・エクリプス [品番:7300]
- ・エクリプス oven [品番:7310]

6

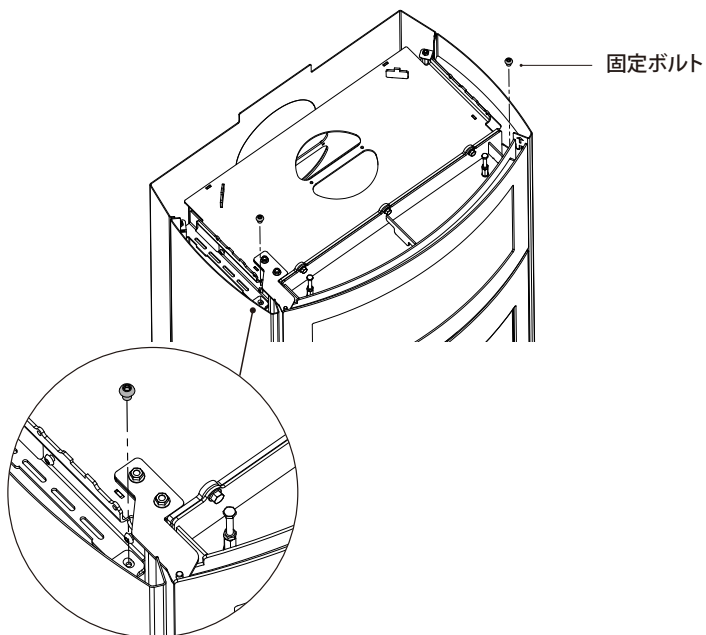
サイドヒートシールドを固定するボルトを外す

図で示す六角穴付きボタンボルトを外します。
(左右それぞれを外す)

必要工具

4mm六角棒レンチ

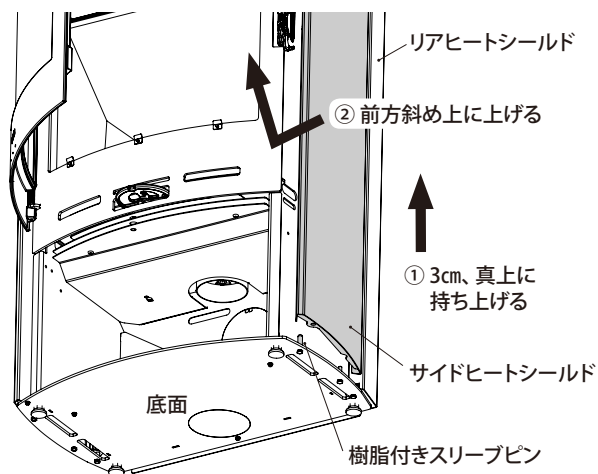
注意 外した六角穴付きボタンボルトが紛失しないよう、注意してください。



7

サイドヒートシールドを外す

図のようにスチールサイドを3cmほど持ち上げ、前方斜め上に取外します。
(ドアを開けたほうが、外しやすい)



図はエクリプスoven [品番:7310]を示します。

8

リアヒートシールドを取外す

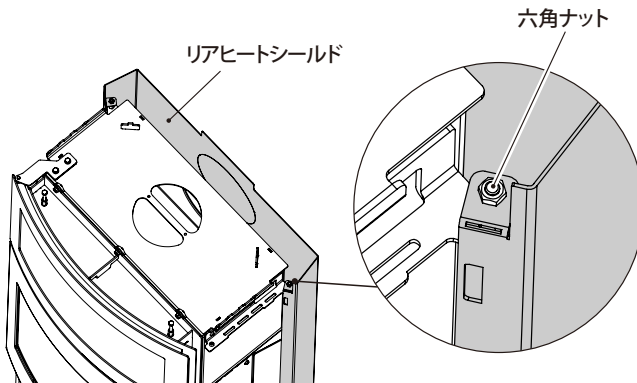
本体のレベル調整を行うため、リアヒートシールドを外します。

ストーン仕様はストーンサイドを外してから、スチール仕様はサイドヒートシールドを外してから行います。

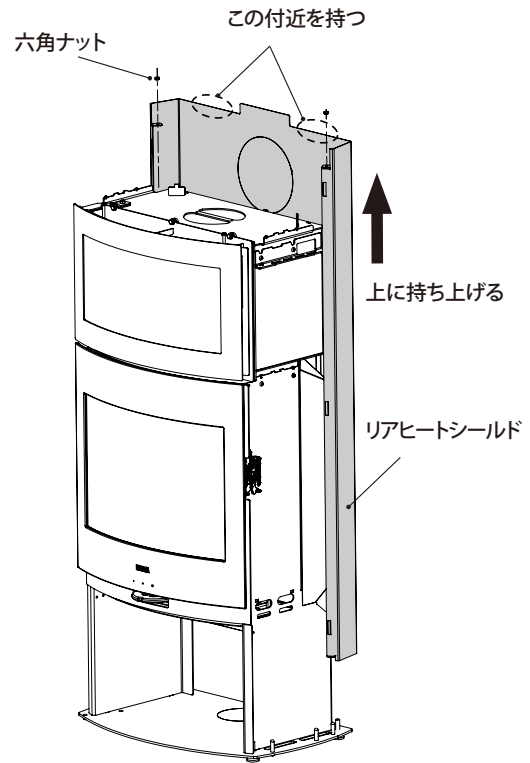
必要工具

10mmスパナ

リアヒートシールドを固定している六角ナットを外し、リアヒートシールドの上端部を持って引き上げ、取外します。



注意 外した六角ナットが紛失しないよう、注意してください。



ストーブの搬入移動と据え付け

9

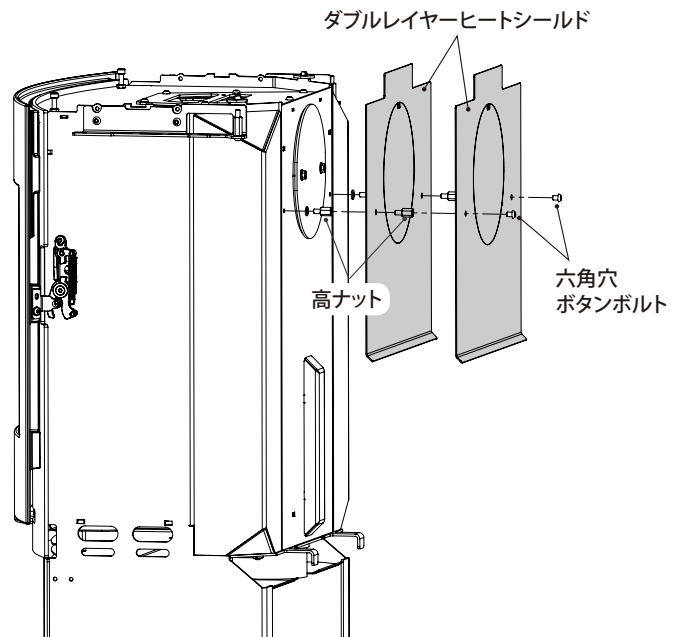
搬入・移動の準備

ストーブを移送する際、ストーブ背面のダブルレイヤーヒートシールドを破損しないよう注意してください。

エクリプスbasicの移動時、ダブルレイヤーヒートシールドを外した方が、移動がしやすくなります。

必要工具

4mm六角レンチ
10mmスパナ



10

搬入・移動し設置する

ストーブを据え付ける位置に搬入・移動し、次ページ **4**「本体の設置」に従い、ストーブの設置作業を行ってください。

4 本体の設置

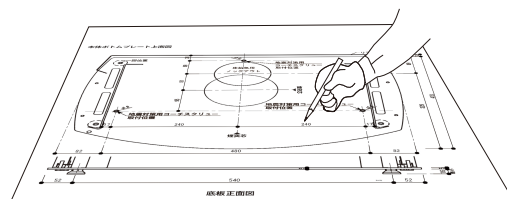
注意 ストープを設置する床は本体、および炉台の荷重を長期間十分受けられる構造としてください。

1

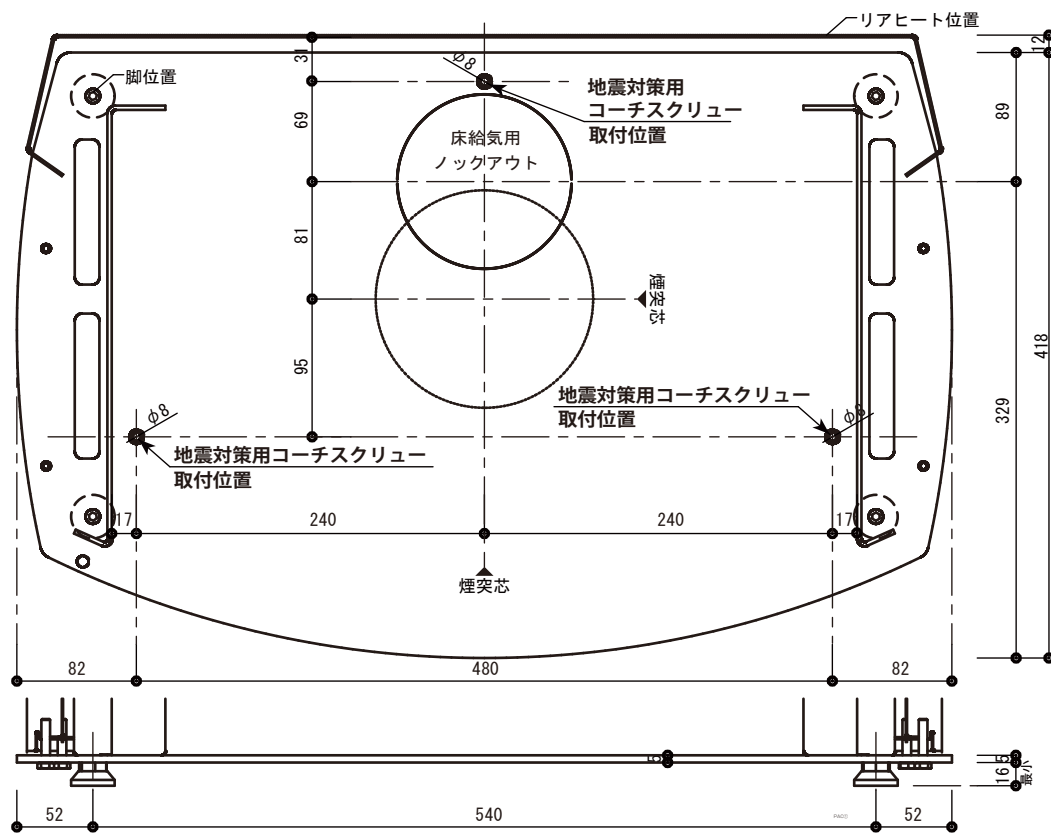
墨出し

ストープの設置位置に設置用テンプレートを用いて墨出しを行います。

ポイント 煙突芯位置、およびプレート位置等に墨出しを行います。



本体ボトムプレート上面図



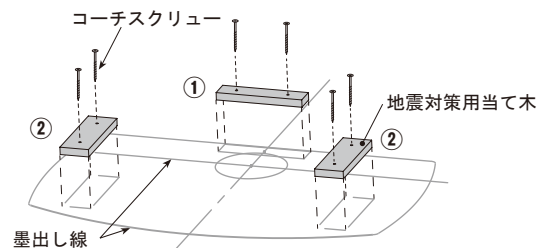
底板正面図

2

地震対策用当て木の設置

煙突芯位置の墨出し線を基準に地震対策用コーチスクリュー打ち込み位置に地震対策用当て木を取付けてください。

ストープを設置する床が土間やタイル、天然石の場合
地震対策用当て木をコンクリート、またはタイル用接着剤で
接着してください。



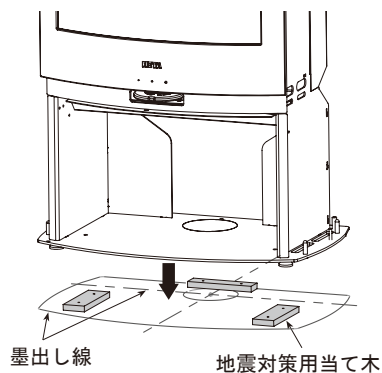
● 当て木の寸法

	①	②
幅	50 mm 程度	35 mm 程度
長さ	150 mm 程度	150 mm 程度
厚み	16~17 mm 程度	16~17 mm 程度

3

本体の設置

ストーブ本体を墨出し線に合わせ設置します。



4

本体のレベル調整

ストーブが水平になるよう、水平器を使用してレッグレベラーを調整してください。

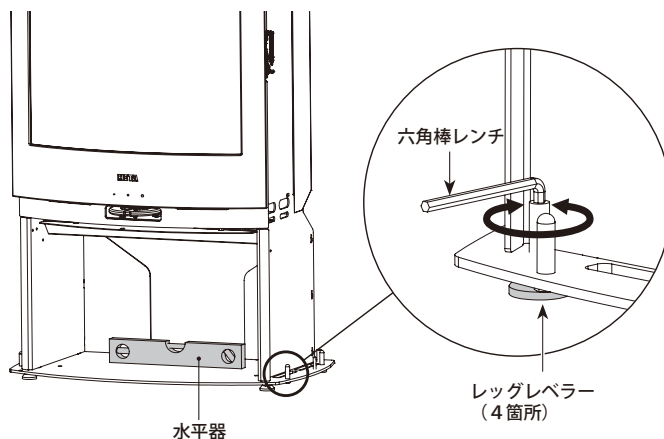
水平器は、ログストアのボトムプレートの煙突芯位置に置いて水平を確認します。

必要工具

5mm六角棒レンチ

注意

レッグレベラーは、サイドヒートシールド、ストーンサイド、リアヒートシールドを外してから、作業を行います。



5

コーチスクリューの打ち込み

本体ログストアのボトムプレートにあらかじめあいている穴にコーチスクリューを打ち込みます。

コーチスクリューは下穴をあけてから施工してください。

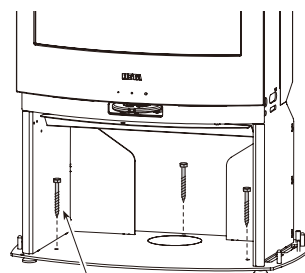
• 推奨コーチスクリュー M6×65mm以上

ストーブを設置する床が土間やタイル、天然石の場合

地震対策用コーチスクリュー取付位置にコンクリートアンカー（オールアンカー等）の施工基準に従い、打ち込み用の下穴を開けてください。次にコンクリートアンカー（オールアンカー等）を打ち込み、しっかりと締め込んでください。

• 推奨コンクリートアンカー（オールアンカー等）

M6×80mm以上



コーチスクリューM6×65 mm以上…3本

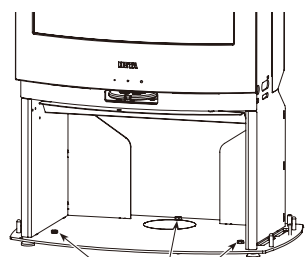
必要工具

10mmスパナ

6

コーチスクリューの締め付け

ストーブにガタつきのないよう、コーチスクリューをしっかりと締め込みます。



コーチスクリューをしっかりと締め込む

5 給気用ダクトの取付け方法

ストーブの燃焼用に外気を直接本体に取り入れる場合、給気用ダクト(金属等不燃材製)を以下の方法で接続してください。
壁または床にはあらかじめ開口を設けておいてください。ダクトは外気を供給できる場所まで延長してください。

※給気用ダクト(アルミフレキシブルダクト:内径φ100mm)、ホースクリップは別途ご用意ください。

A: 壁を貫通する場合の接続

※床を貫通する場合の接続方法はP17

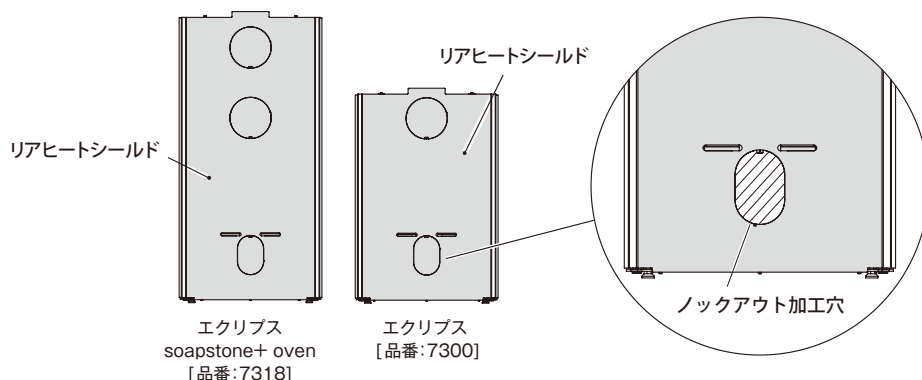
1

ノックアウト加工穴を開く

本体背面(リアヒートシールド)下部にあるノックアウト加工穴を開きます。

必要工具

ニッパー



2

リアヒートシールドの取外し

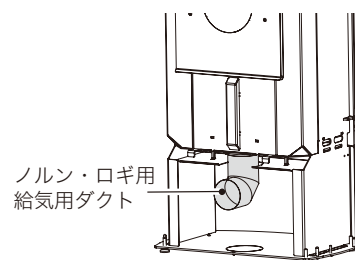
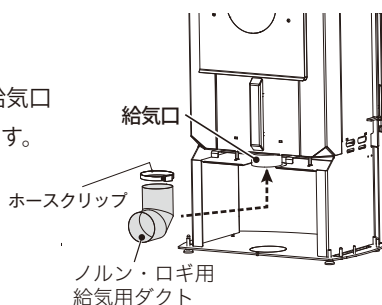
P13「リアヒートシールドを取外す」を確認してください。

3

給気ダクトの取付け

ノルン・ロギ用給気ダクトをストーブの給気口にはめ込み、ホースクリップで固定します。

ノルン・ロギ用給気ダクト
【品番:18375】
※エクリプス共通



4

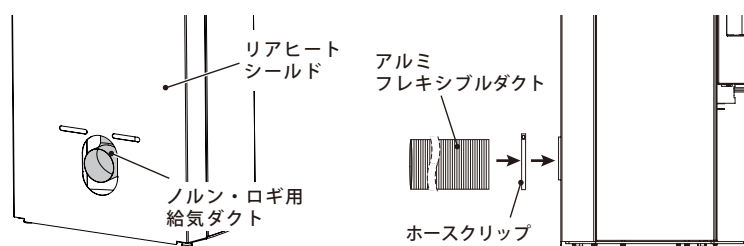
リアヒートシールドの取付け

P18「リアヒートシールドの取付け」を確認し、取付けてください。

5

アルミフレキシブルダクトを取付ける

図のようにノルン・ロギ用給気ダクトに給気用ダクト(アルミフレキシブルダクト)を3cm以上差し込み、ホースクリップで固定します。ダクトは、外気に面したところまで延長させてください。



B: 床を貫通する場合の接続

※壁を貫通する場合の接続方法はP16

1 床の開口に本体底面開口部を合わせる

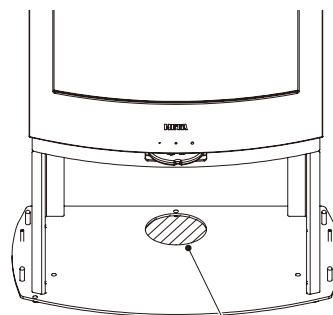
はじめに設置用テンプレートを基準に、床の給気ダクトの貫通位置へφ100mmのアルミフレキシブルダクトの通るφ110mm程度の開口を開けます。次にP14～**4**「本体の設置」に従い、ストーブを設置します。

2 ノックアウト加工の穴を開く

ストーブのボトムプレートにある給気口のノックアウト加工の穴を開きます。

必要工具

ニッパー



ノックアウト加工穴

3 リアヒートシールドの取外し

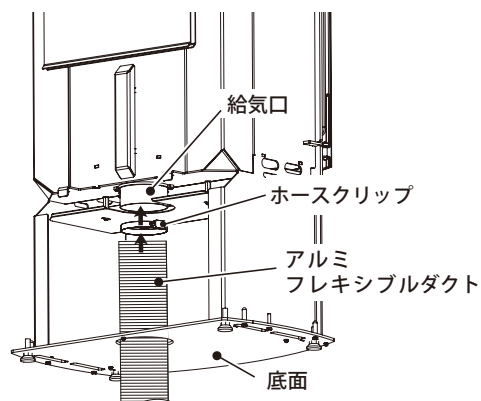
P13「リアヒートシールドを取外す」を確認してください。

4 給気ダクトの取付け

アルミフレキシブルダクト、または給気ダクト(直筒)のいずれかを取付けます。

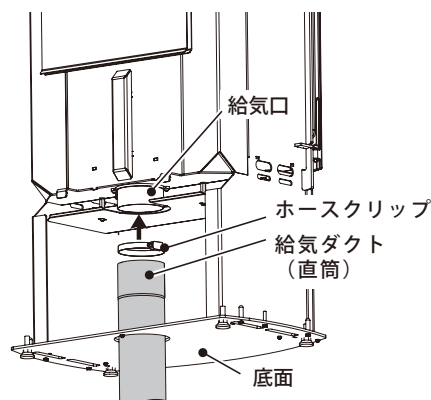
●アルミフレキシブルダクトの場合

ストーブの給気口に内径φ100mmのアルミフレキシブルダクトを3cm以上差し込み、ホースクリップで固定します。ダクトは外気に面したところまで延伸させてください。



●給気ダクト(直筒)の場合

ストーブの給気口に給気用ダクト(ステンレス管仕様・直筒)をはめ込み、ホースクリップで固定します。



5 リアヒートシールドの取付け

P18「リアヒートシールドの取付け」を確認し、取付けてください。

6 燃焼室の各パネル、付属品の取付け ⚙️

運搬移動で取外した燃焼室の各パネル、オーブングリル、サイドストーン、またはサイドパネルをストーブに取付けます。

1 燃焼室の各パネルを取付ける(各機体共通)

パネル組立て方法……『取扱説明書』P39「●パネルの分解、組立て手順」に従い、作業を行ってください。

注意 パネルはバーミュキュライト製で破損しやすいため、組付けは丁寧に行ってください。

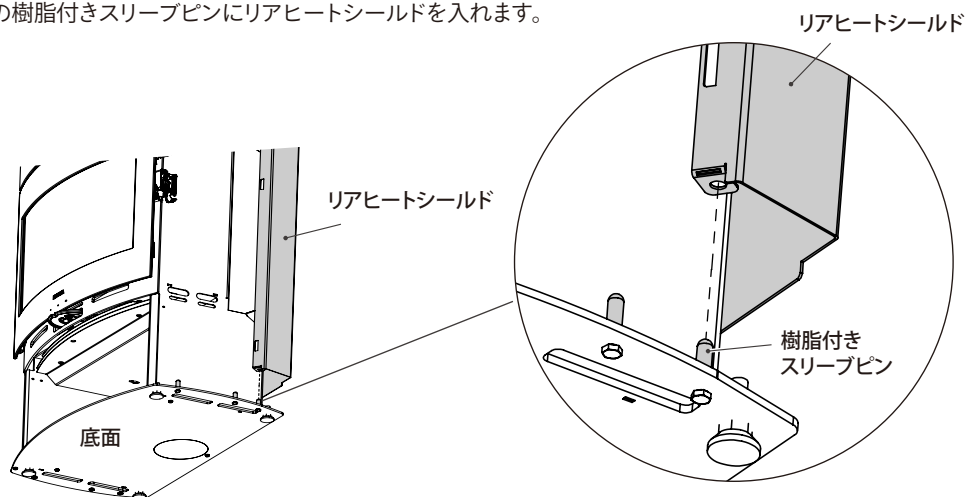
2 オーブングリルを取付ける ※オープンシリーズのみ

オープン内にグリルレール、オーブングリルを取付けます。

3 リアヒートシールドの取付け

リアヒートシールドを本体に取付けます。

ボトムフレームの樹脂付きスリーブピンにリアヒートシールドを入れます。



4 リアヒートシールドを固定する

P13「リアヒートシールドを取外す」で外した六角ナットを取付けて固定します。

ストーン仕様の場合

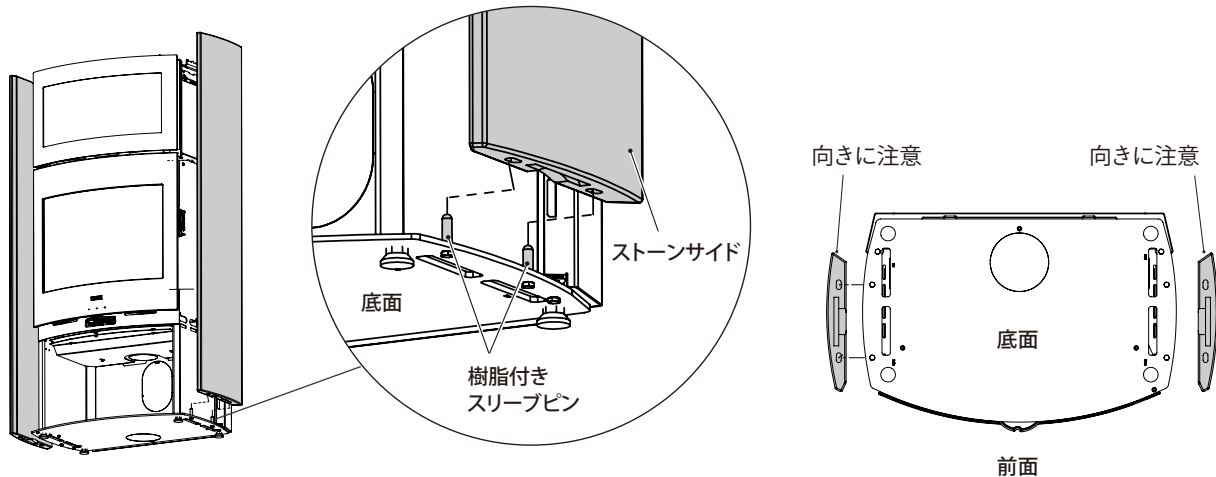
ストーン仕様は以下の作業を行ってください。

対象モデル ・エクリプス soapstone [品番:7308]
・エクリプス soapstone + oven [品番:7318]

5

ストーンサイドをストーブ本体に取付ける

ストーンの前後の向きを確認の上、ストーンサイドをストーブ本体の樹脂付きスリーブピンに入れます。ストーンサイドが樹脂付きスリーブピンに入ったのを確認してから、ストーンサイドを下ろします。



注意 樹脂付きスリーブピンの変形に注意してください。

6

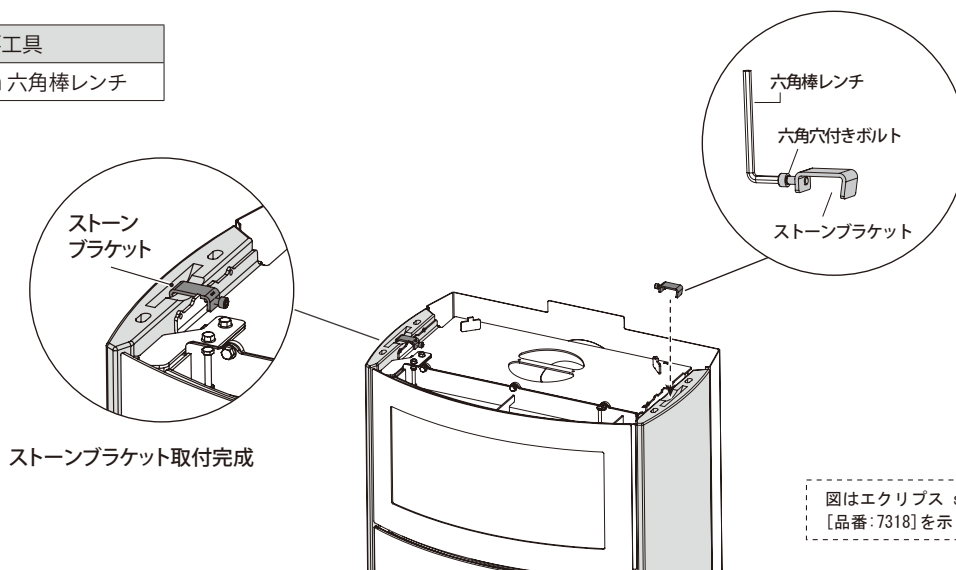
ストーンサイドにストーンブラケットを取付ける

ストーンサイドが倒れないように、支えながらストーンブラケットをストーンの長穴に掛けます。次にストーンブラケットに留まっている六角穴付きボルトを締めてストーンサイドを固定してください。

注意 ストーンブラケットを取付ける際、ストーンサイドが倒れないよう支えながら作業を行ってください。

必要工具

5 mm 六角棒レンチ



ストーンブラケット取付完成

図はエクリプス soapstone + oven
[品番:7318]を示します。

スチール仕様の場合

スチール仕様は以下の作業を行ってください。

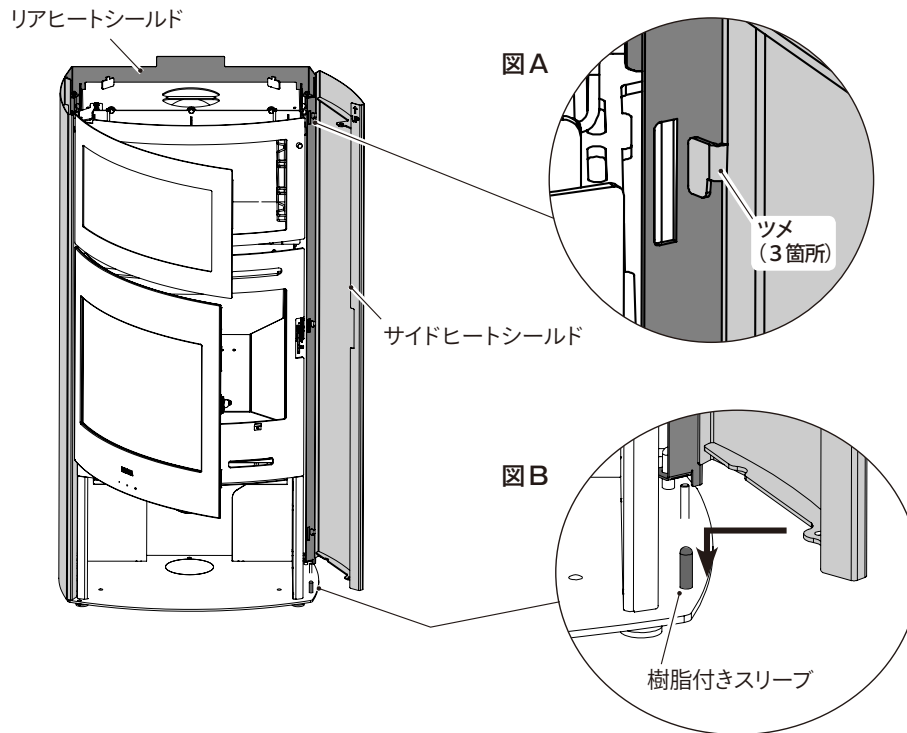
対象モデル ・エクリプス [品番:7300]
・エクリプス oven [品番:7310]

7

サイドヒートシールドを取付ける

リアヒートシールドの長穴に、サイドヒートシールドのツメ 3箇所を入れます(図A)。

手前の樹脂付きスリーブにサイドヒートシールドの穴を通して下げます(図B)。



8

サイドヒートシールドの固定

P12「サイドヒートシールドを固定するボルトを外す」で外した六角穴付きボタンボルトで固定します。

必要工具

5mm 六角レンチ

7 煙突の設置

1

スターターの取付け

煙突に接続するために、付属のスターターを図のように取付けます。

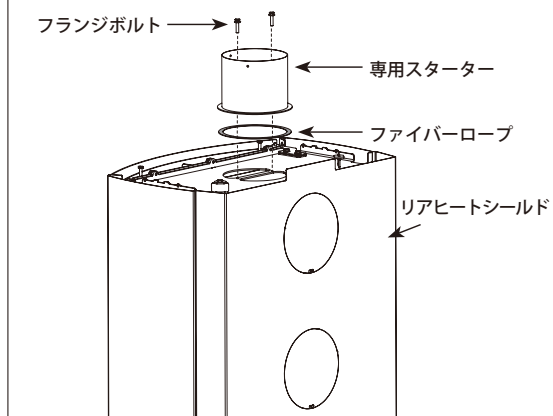
スターターはファイバーロープを用いて、排気漏れのないように隙間なく取付けてください。

必要工具

10mmスパナ

5mm角六角棒レンチ

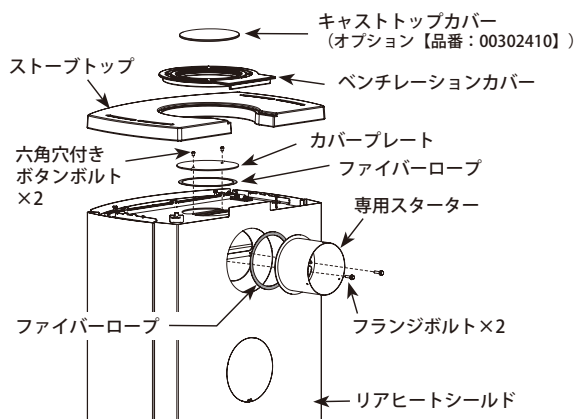
垂直接続の場合



図は、エクリプス oven [品番:7310] を示します。
全エクリプス共通で同じ作業を行ってください。

水平接続の場合

- ・リアヒートシールド上部のノックアウト穴を開いたのち、ストーブ本体にあるカバープレートを取外して専用スターターを取付けます。
- ・トップを塞ぐカバープレートは、背面に組付けされていたものをそのまま使用し、垂直接続位置に取付けます。

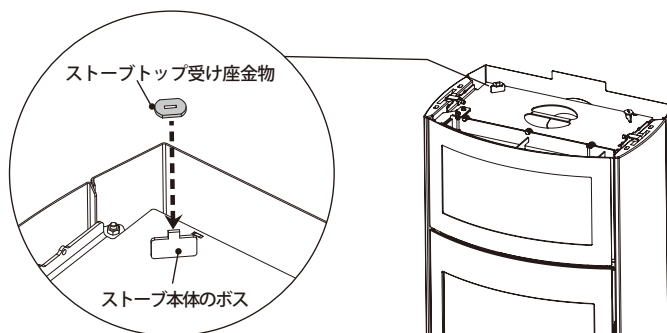


2

ストーブトップの受け座金物を取付ける

P10で外したストーブトップ受け座金物(2個)をストーブ本体のボスに通して固定してください。

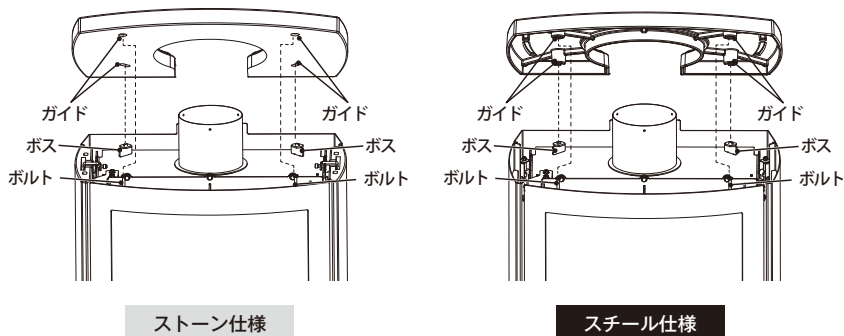
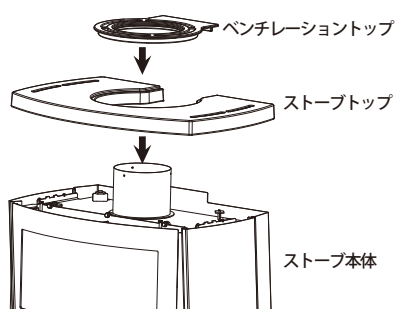
.....ストーブトップ受け座金物 × 2個



3

ストーブトップ、ベンチレーショントップを取付ける

ストーブトップ⇒ベンチレーショントップの順にストーブ本体に取付けてください。



注意 外れ、落下防止のため、ストーブトップの裏面にあるガイドにストーブ本体の位置決めボスとボルトを合わせて納めてください。

煙突の仕様

● シングル煙突

材質は厚み0.6mm 以上のステンレス製、もしくは鉄製で、継目は溶接、またはハゼ組みのものを使用してください。

シングル煙突の長さの目安

室内に使用するシングル煙突の長さは、建物の断熱性能を考慮した上で、本体より最長2.4mまでを目安としてください。

● 断熱二重煙突

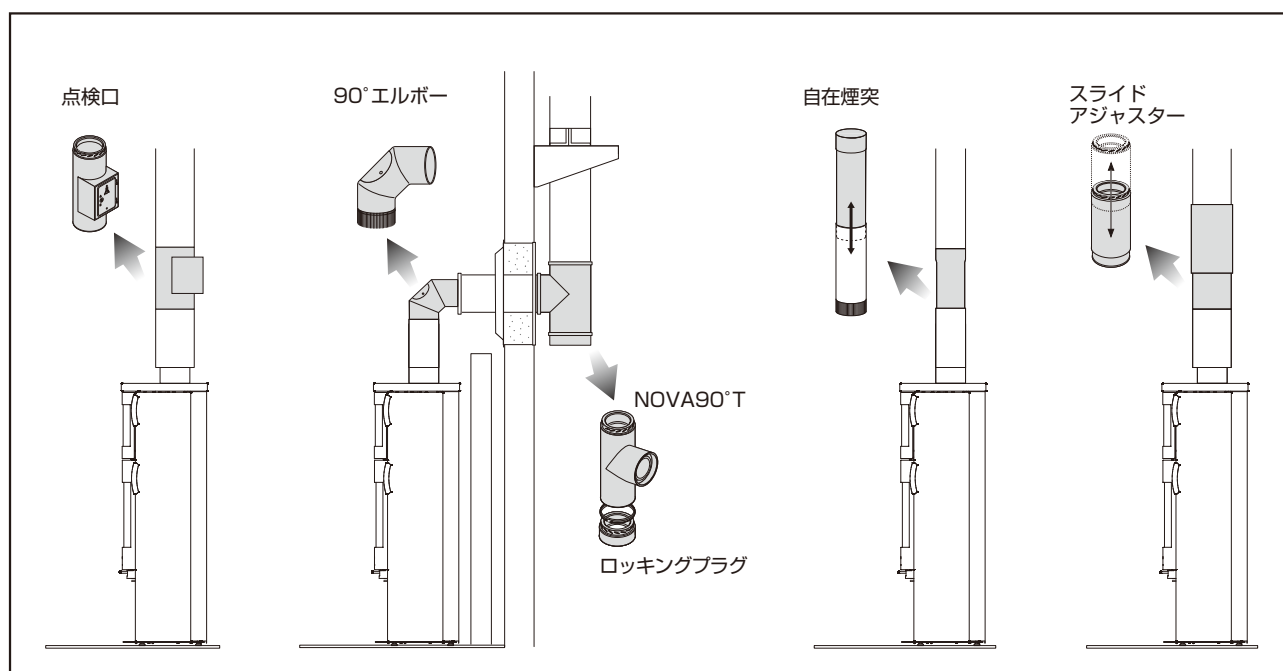
衝撃テスト認定品 (UL103 "Type HT" もしくは BS EN 1856-1 T400 以上)、もしくは同等の断熱性能を有するものであって、材質が SUS304 以上の耐酸性、耐食性のある断熱二重煙突を使用してください。

煙突の立ち上がり・曲がり・横引きの目安

- ・煙突は排気抵抗を考慮し、できるだけストレートに設置してください。
- ・立ち上がりは本体接続部から4m以上必要です。
- ・曲がりの箇所は4箇所までとし、角度の合計は270°以内を目安としてください。
- ・横引きの長さは500mm以内を目安としてください。

煙突の点検口

点検口は点検、メンテナンスが行いやすく、かつ容易に近づくことができる場所に設けてください。



煙突の支持

- ・支持具を固定する際は建築物の構造、取付け面の仕上げ、煙突重量、および気象条件等の外力を考慮し、必要に応じて建築工事による下地補強を行い、確実に固定してください。
- ・システム全体で必ず1箇所以上の煙突荷重受けを断熱二重煙突部分に設置し、かつ振れ止めは3.5m以内の間隔で固定してください。
- ・支持部分から煙突頂部までの間は1.5m以内にしてください。
- ・支持具は煙突を長期間保持できるように強固に固定し、材質は腐食を考慮し SUS304、または同等の性能にしてください。

荷重受

荷重受用の部材は **M 8 以上のステンレス製六角コーチスクリューを4本以上**にて、建築躯体に固定してください。

振れ止め

振れ止め用の部材は、**屋外にM 8 以上、屋内にあたってはM 6 以上のステンレス六角コーチスクリューを2本以上**にて、建築躯体に固定してください。

煙突の接続

- ・煙突は容易に外れないよう強固に接続し、かつ排気漏れがないように接続してください。
- ・他の機器が接続されている煙突には接続しないでください。

煙突の雨仕舞と雪害対策

- ・屋外貫通部、および煙突の曲がり部、接続箇所は雨の浸入を十分考慮し、シール材等で防水処理を行ってください。
- ・雨仕舞いは一次防水にとどまらず、必ず二次防水の処理を併せて行ってください。
- ・積雪地域では雪割りや雪止め等の金具を設け、煙突、および雨仕舞い部材の破損を防止してください。

既存の煙突

既存の煙突にストーブを接続する場合は、原則として1年以上使用した煙突、煙突トップ、固定金具は新品と交換してください。ただし煙突、煙突トップ、固定金具の材質がSUS304、または同等以上の耐酸性、耐食性を有する材質で、穴あき・サビ・亀裂・閉塞・接続部の外れなど、安全に問題がないことが確認された場合は、既存の煙突にストーブを接続することができます。

Memo

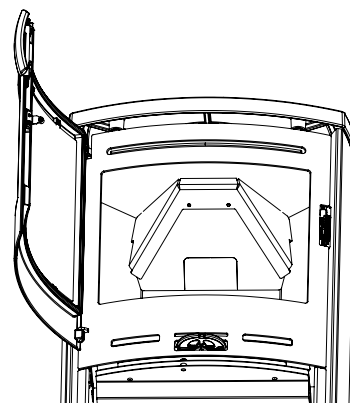
8 排気経路の改善

ドラフトが弱いと思われる場合は、スチールバッフルの排気経路を増やして改善することができます。

1

燃焼室内のパネルを外す

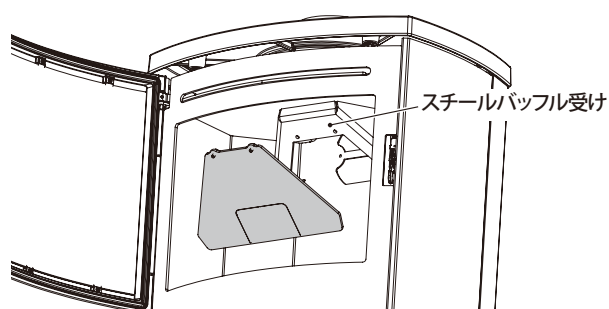
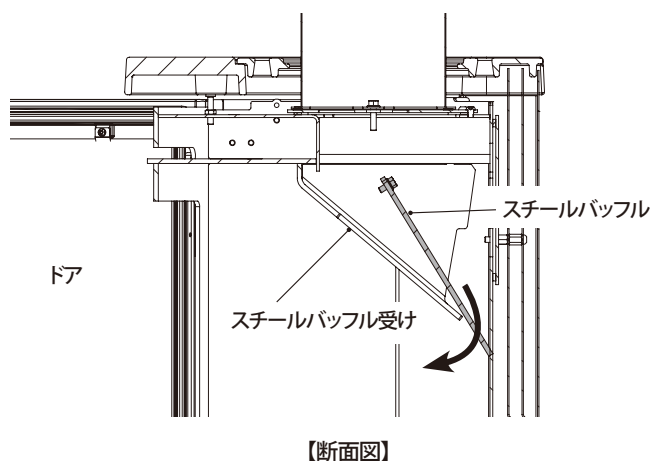
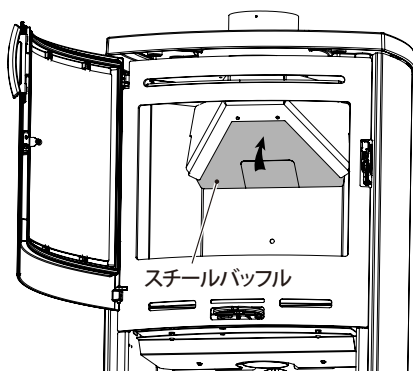
別紙『取扱説明書』P39「● パネルの分解・組立て手順」を参照し、バッフルパネルやバックパネルなど、燃焼室内のパネルをすべて外しておきます。



2

スチールバッフルを外す

スチールバッフルの色表示した箇所を矢印の方向に押し、スチールバッフル受けの隙間から、取り出します。

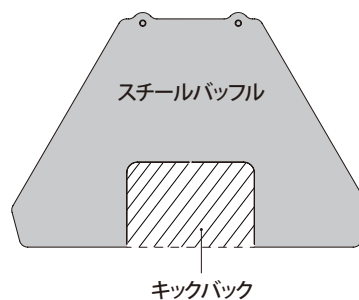


3

キックバック部分を取外す

斜線のキックバック部分を取外し、排気経路を作ります。

1 ~ 2 と逆の順でスチールバッフル、各パネルを取付けます。



9 ドアハンドルの取付け方法

以下の要領で、各ドアにハンドルを取付けます。

注意 オプションのボトムドアに、ハンドルの取付けはできません。

1

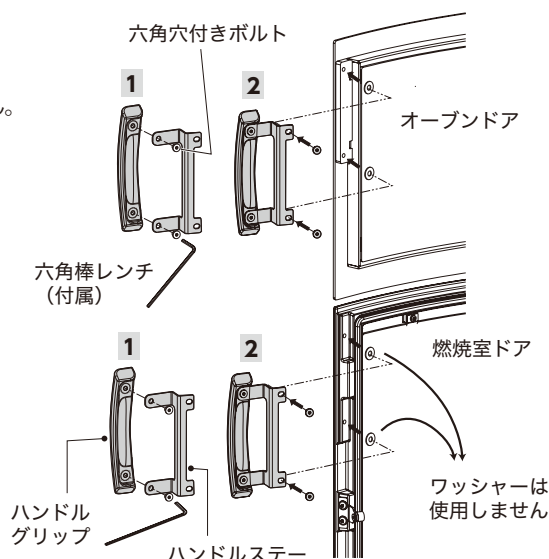
ハンドルグリップを取付ける

付属の六角レンチを使い、六角穴付きボルトでハンドルステーにハンドルグリップを取付けます。

2

組立てたハンドルをドアに取付ける

1で組立てたハンドルを六角穴付きボルトで各ドアに取付けます。燃焼室ドアについていたドア側のワッシャーは使用しません。



10 チェックリスト



指示

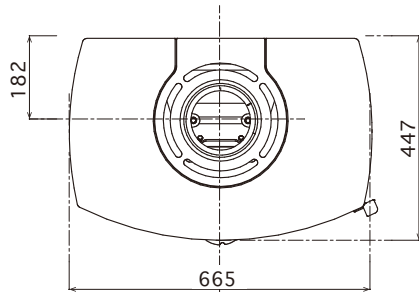
工事終了後、以下の項目に従い、工事内容を再確認してください。

	点検項目	点検内容	チェック
ストーブ、およびその周辺	床の保護	ストーブを設置する床の保護範囲は十分ですか。 また、防火上有効な措置がされていますか。	
	可燃物との離隔距離	ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は十分ですか。	
	換気設備と燃焼空気	燃焼に必要な空気を取込めますか。換気は行えますか。	
	保守、管理上の空間	点検、修理に必要な空間はありますか。	
	水平・安定設置	ストーブは水平に設置され、がたつきはないですか。 地震時の転倒防止対策として、床に固定されていますか。	
	備品	備品は全て取付けされていますか。	
煙突	可燃物との離隔距離	煙突から周囲の可燃物までの離隔距離は十分ですか。	
	頂部の高さ	煙突の高さは十分ですか。	
	固定、接続	煙突は確実に接続され、堅固に固定金具で固定されていますか。	
	保守、メンテナンス	煙突の保守、メンテナンスが容易に行える設置になっていますか。	

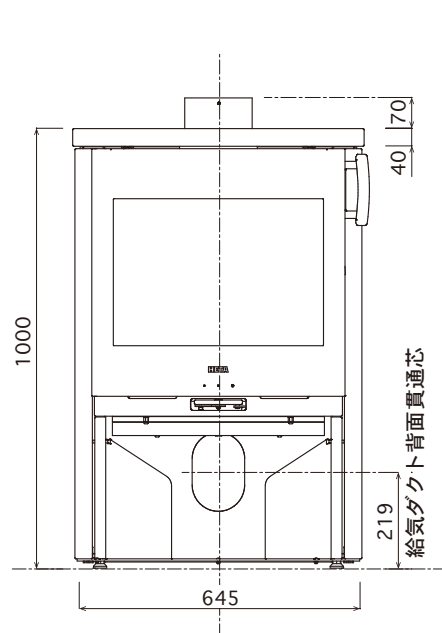
11 本体寸法図

ECLIPSE soapstone

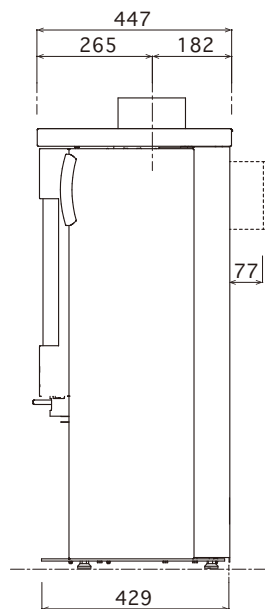
(単位:mm)



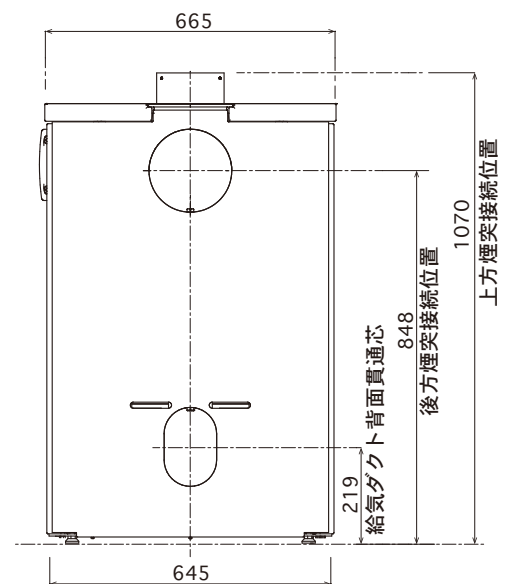
平面図



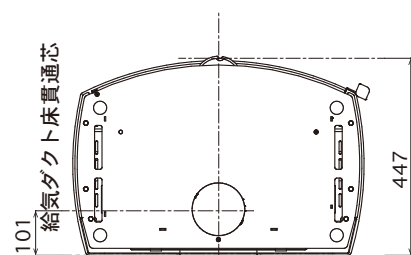
正面図



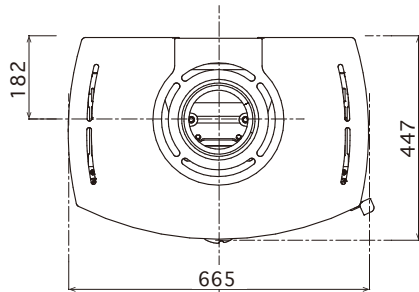
側面図



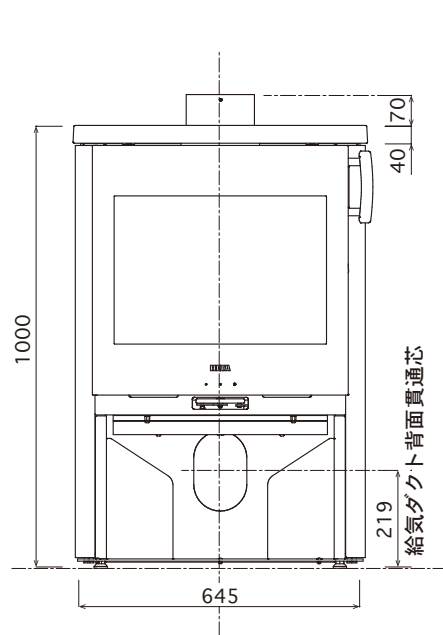
背面図



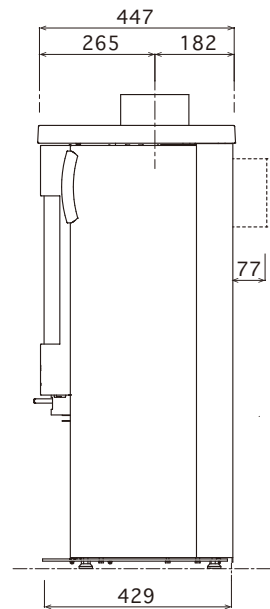
底面図



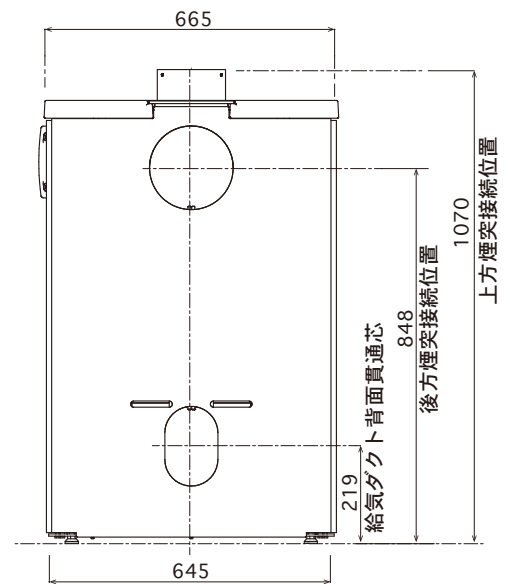
平面図



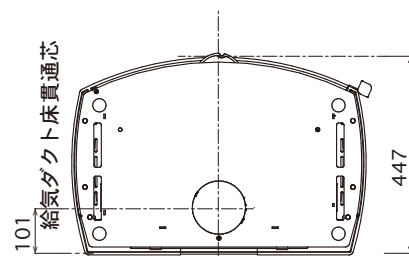
正面図



側面図



背面図

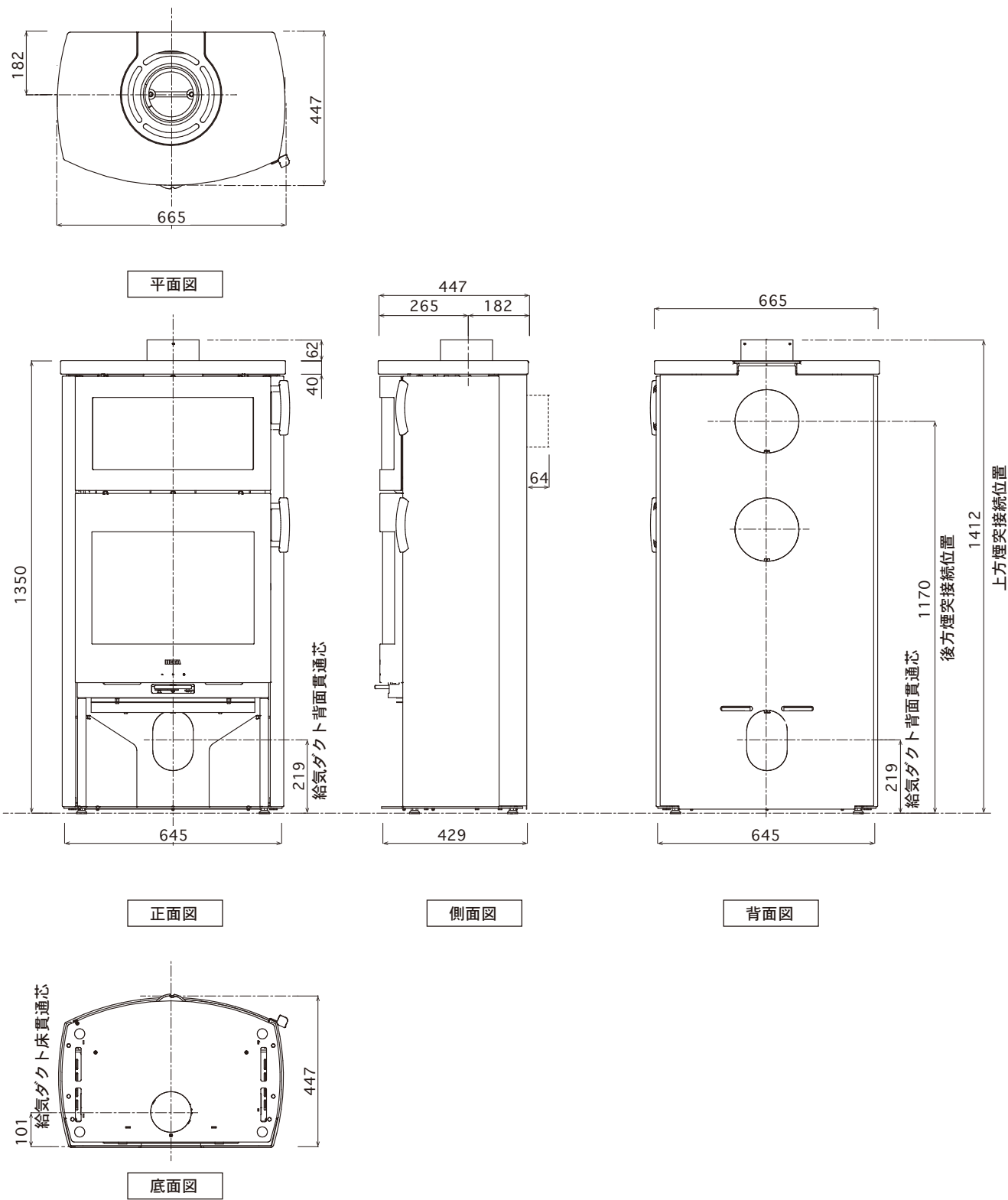


底面図

本体寸法図

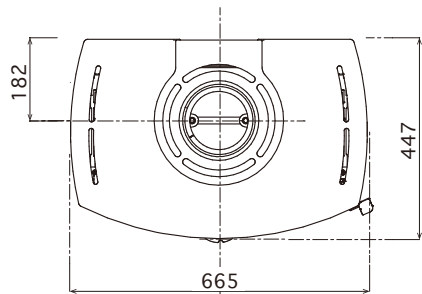
ECLIPSE soapstone + oven

(単位:mm)

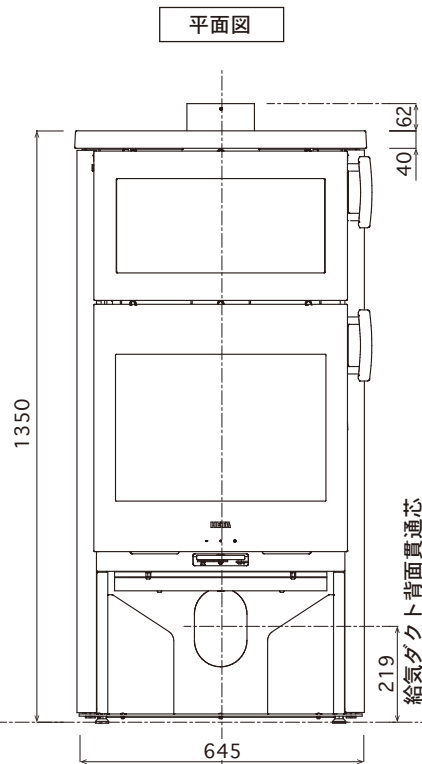


ECLIPSE oven

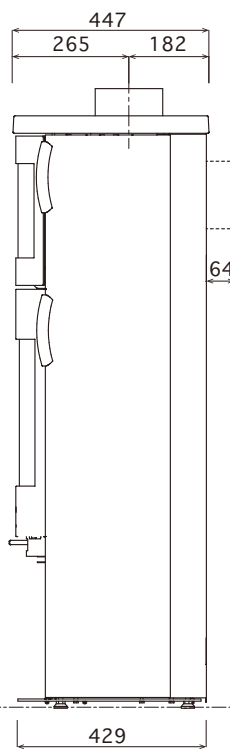
(単位:mm)



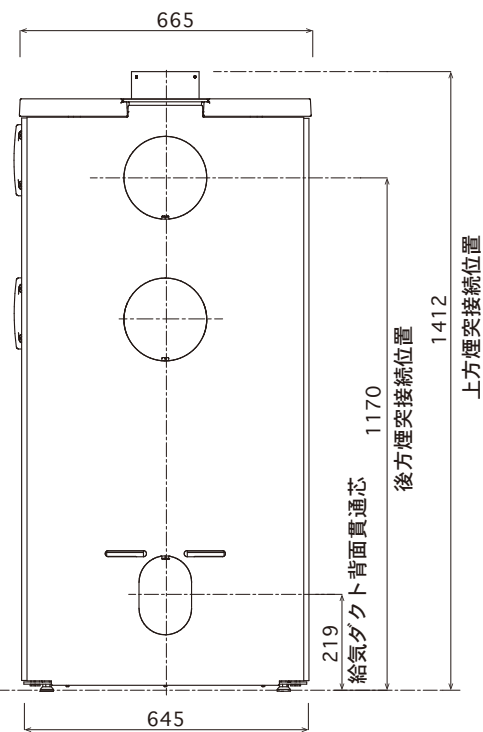
平面図



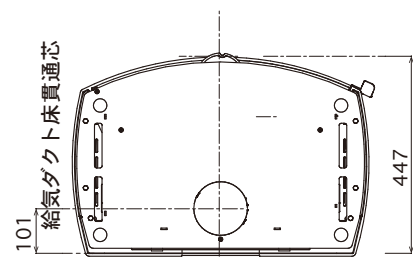
正面図



側面図



背面図



底面図

本体寸法図

[illegible]



ファイヤーサイド株式会社
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂497-871
☎0120-46-7877
<https://www.firesidestove.com>